

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ振興課

1 施設の概要等

施設名	府中市B&G海洋センター		
所在地	府中市土生町426番地及び府中市用土町437番地		
設置目的	スポーツの普及振興と市民の体力向上を図る		
施設・設備	屋内プール等		
指定管理者	R4.4.1	～	R7.3.31 一般財団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	43,000 人	26,869 人	6,058 人	-16,131 人	62.5%
R5	50,000 人					%
R6	58,000 人					%
						%
				-		%
増減理由	前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休業期間があったが、令和4年度は通常営業できたことにより、利用者が増加した。対目標値については、依然としてコロナの影響があり、令和元年度の利用ベースに対し、6割程度の利用者数となった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	水泳教室の前後に聞き取りしている。	教室の受講者
	【主な意見】	【その対応状況】
	夏場、冬場の施設内の温度	扇風機、暖房器具で対応している。
	指導方法の改善に関する意見。	週1回職員ミーティングの際に報告と対策を協議している。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	事業報告書		
	月報	○	徴収計算書、月次報告書		
	日報(必要随時)				
管理運営会議	2回 会場 府中市B&G海洋センター	【特記事項等】	・利用状況、運営状況について、報告・提案、意見交換を行った。また、施設の修繕等については、必要に応じて随時協議した。		
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	・引き続き報告と意見交換協議を実施。		
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】 ・施設視察(随時)
○	○	○	○	○	
6月	7月	8月	9月	10月	
○	○	○	○	○	
11月	12月				
○	○				

## 5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	30,738	635		R4	20,672	5,656
	R5			R5			
	R6			R6			

## 6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	28,227	30,738	2,511	
	料金収入	14,677	20,672	5,995	施設閉鎖等が無くなったため
	その他収入	7,393	1,022	-6,371	コロナ対策補助金
	計(A)	50,297	52,432	2,135	
	支出				
	人件費	33,389	34,727	1,338	
	光熱水費	8,537	11,199	2,662	電気料金、燃料の高騰
	設備等保守点検費	323	535	212	
	清掃・警備費等	161	95	-66	
施設維持修繕費	326	297	-29		
事務局費	1,477	1,384	-93		
その他支出	3,932	5,616	1,684	公課費の増加	
計(B)	48,145	53,853	5,708		
収支①(A-B)	2,152	-1,421	-3,573		
自主事業					
収入(C)	1,876	1,615	-261		
支出(D)	813	1,168	355		
収支②(C-D)	1,063	447	-616		
合計収支(①+②)	3,215	-974	-4,189		

## ※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

## ※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>①入館システム、体温計、体調確認等の予防措置、生徒等に陽性者発生時は職員のキット検査実施等で対策を行い利用者及び職員の健康を守る取り組みを徹底した②自主事業では短期水泳教室、カヌー教室&amp;体験、健康まつり、ふるさとまつり、会員表彰、水辺の安全教室、ワンコインレッスン、トレーニング器具利用事業等を実施し、コロナ禍でも工夫をしながらたくさんの方が再開できた。実施後に継続して利用していただける方も増え、すでに利用していただいている方にはより満足していただけるような取り組みとなった。しかし未だコロナ前の利用者数には至っていない③インストラクターやトレーナーの資格を持つ職員の配置を行い、利用者の技術力や満足度の向上を図りつつ、安全に利用していただけるような体制を整えた④救急講習の実施、業務研修へ参加し、職員のスキルアップをした</p>	<p>・R4年度もコロナ禍での運営であったが、工夫を凝らしながら、感染防止対策等を講じており評価できる。          ・施設スタッフの利用者に対する聞き取りなど、細やかな対応が見られ評価できる。          ・施設スタッフが新たにトレーナーの資格を取得するなど評価できる。今後はそのスキルを新たな自主事業の展開に役立てていただきたい。          ・施設の老朽化による不具合が多く見られる中で、軽微な修繕は、施設スタッフが迅速に対応するなど評価できる。</p>

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>①利用人数を増やすために、職員のスキルアップを行う。さらにSNS等を利用しながら積極的な広報活動を行い周知を図る。②職員配置については現状の人数ではぎりぎりの状態であるため、新たな職員を確保し育成していく③開所45年以上経つ施設なので老朽化が著しいが、利用者や職員の安全を守るため目視等で点検を行い、修繕の必要な箇所は職員や市と共有し対応していく④利用者の満足度を上げるために、アンケート等を行い利用者のニーズを把握し、対応する。</p>	<p>○新型コロナの影響による利用者減少の回復          ○一般利用者数増加への取組          ○修繕コスト減少の取組</p>